

じゅうせいげ
重誓偈

■ 楽曲データ

歌詞：重誓偈

楽曲：本居長世 作曲

初演：—

初出：『佛教聖歌 第十回発表』佛教音楽協會 1939年

管理番号：M1492

■ 創作の経緯

仏教音楽協会より「仏教聖歌」として発表（第10回）。

■ 校訂報告

校訂譜：『聖歌・讃歌集』第1巻収録

底資料：『合唱曲集 響流 混声編』龍谷混声合唱団 1972年

校訂の詳細：特記事項なし

■ 解説

仏教音楽協会は、1927（昭和2）年に発足した超宗派的な団体です。仏教音楽の創作と普及を主な活動とし、公募や当時の日本を代表する作詞家・作曲家への委嘱などにより発表した楽曲は、170作品以上にのぼります（これらの作品は「仏教聖歌」と呼ばれます）。

《重誓偈》は1939年、第10回発表のうちの1曲として創作された、男声四部合唱作品です。

作曲の本居長世（1885～1945）は、《七つの子》《青い眼の人形》など、童謡作曲家として知られていますが、邦楽にも造詣が深く、声明にも関心を寄せていたそうです。

曲は、大きく3つの部分からなっています。

A) 1～45小節（我建超世願～為諸天人師）：3/4拍子で、漢字一文字を四分音符で歌うリズムが基調となっています。

B) 46～54小節（神力演大光～説法獅子吼）：3/2拍子にかわり、テンポも速くなります。

C) 55小節以降（供養一切仏～）：Aの曲調に戻り、最後はAdagioで荘重に終わります。

Copyright: Jodo Shinshu Hongwanji-ha Research Institute. All Rights Reserved.